

A decorative border composed of various shades of teal and green triangles and polygons, framing the central text area.

付 1 計画の進捗状況

改訂前計画は、計画理念のもと、3つの施策方針と12の施策テーマにそって本市のスポーツ推進施策が体系化されており、この体系に沿って計画の推進状況を確認、整理し、計画見直しの基礎情報とした。その概要は、以下のとおりである。

1. 次世代を担う子どもたちのスポーツ環境の整備

(1) 時代変化に対応したスポーツ環境の整備

【対象層】学童期（6～12歳）・思春期（13～19歳）

〔スポーツ少年団・学校部活動等〕

- 学童期、思春期を対象とした施策は概ね計画どおりに推移しているものの、児童・生徒数の減少等により、スポーツ少年団の団員数の確保や単位団そのものの存続、中学校の部活動数の維持などが一部難しくなっている。
- 地域や民間スポーツクラブ等と連携した学校部活動の支援、代替機能については、人材の確保等の問題から具体化していない。

〔トップアスリートの発掘・育成〕

- 全国大会や世界大会などに出場するチームや選手が増えてきている。

(2) スポーツ保育の普及

【対象層】乳幼児期（0～5歳）・学童前期（6～9歳）

- 子どもが体を動かすことを楽しめるスポーツ教室やイベントを継続的に開催している。
- 乳幼児向けの教室・講座は、参加者が多く成果の出ている事業がある反面、参加人数が減少しているものもある。また、ジェンダー（性差）平等の観点から廃止となった講座もある。
- 順天堂大学スポーツ健康科学部と幼稚園・保育園が連携し、園児の体力測定と運動指導を行うことでスポーツ保育の普及に一定の成果が得られており、さらに充実、持続できる体制の確立を図っていくことが望まれる。

2. 暮らしを豊かにするコミュニティスポーツの推進

(1) 地域の絆を創る身近なスポーツ環境の整備

【対象層】市民全般（地域での取組）

- 学校開放の利用状況や公民館等での講座数、参加者数等は、全体的にほぼ横ばいで推移している。
- 各校区の体育振興会については、活動が盛んな校区とそうでない校区の差が大きくなっている。
- 2018（平成30）年には1校区の体育振興会が、役員の担い手がなく存続できない状況となっている。

(2) 幅広くスポーツ参加を促す機会や場の提供

【対象層】市民全般（会社員、障がい者等）

〔スポーツ大会参加促進〕

- 各種スポーツ大会への補助を継続して実施している。大会の参加人数は、競技によって増加している大会と減少している大会に2分されている。

〔多様なスポーツの体験機会の充実〕

- 体育施設の指定管理者主催教室では、幅広い層が参加できるよう新たな教室を取り入れる等の工夫を行っており、年間延べ4万人程度の参加者数を確保している。
- 市民に多様なスポーツを体験する機会を提供することをねらいとするスポーツデーは、2016（平成28）年度の7種目・参加者延べ828人から2019（令和元）年度は20種目・延べ5,870人へと拡大しているが、「スポーツ以外のイベントでのスポーツ体験機会の提供」の取組については具体化していない。

〔職域スポーツ〕

- 職域スポーツの推進については、職場のクラブの活動への助成や大人の体力測定会等の事業を実施しているが、国や県の関連事業との重複から具体化していない施策もある。

〔障がい者スポーツ〕

- 障がい者スポーツに関する施策は、現計画の方向性に沿って新たな取組が具体化しているが、障がい者のイベント参加は一部にとどまっているのが実状である。

(3) 女性が輝くスポーツ環境の整備

【対象層】女性層 青年期（20～39歳）・壮年期（40～64歳）

- 指定管理者が実施する女性向けスポーツ教室は人気も高く参加者も多い。
- 民間事業者と連携して美容や食と連携した運動教室を実施しており好評だが、会場等の制約から定員が限られている。
- 市民主体の活動への補助は、新規に活動を開始する団体からの応募が少ないため、2017（平成29）年度までで廃止している。
- 子育て世代の母親を対象としたスポーツ教室での託児サービスは、具体化していない。

(4) スポーツを通じた高齢者の生きがいづくり

【対象層】前期高齢者（65～74歳）・後期高齢者（75歳～）

- 高齢者向けスポーツ教室や軽スポーツ大会を継続的に実施しており、参加者が互いにコミュニケーションを図り、生きがいや健康づくりを行う良い機会となっている。
- 教室の参加者数は横ばい傾向であるが、大会については微減している。
- マスターズスポーツの普及については、スポーツ教室の開催以外は特に高齢者向けの取組は実現していない。

(5) スポーツ推進のための基盤整備

【対象層】市民全般

〔スポーツ人材の育成〕

- スポーツ推進委員やスポーツ少年団で新たな研修会等を実施することにより、指導者の質の向上を図っているが、実際の指導に活かされているかの検証はされていない。

〔スポーツ団体支援〕

- 市内の主要スポーツ6団体への支援とともに、相互の連携・協力のためのスポーツ関係団体連合会の運営を行っている。
- 各団体とも、少子高齢化により将来的に活動が衰退することが懸念されている。
- 6団体以外の市民クラブや同好会等への支援は、会場の提供以外には特に行われていない。
- スポーツボランティアについては、活動する場（ニーズ）や組織の運営体制も含めた検討が必要であり、事業を具体化するまでに至っていない。

〔広報・情報提供〕

- 市民体育館内での掲示、広報みしま、ホームページへの掲載等を行っているが、情報を求める市民に必要な情報がどの程度的確に伝わっているかは把握されていない。
- 地域情報誌やメディアを活用した新たな取組は具体化していない。

3. スポーツによる“健幸”都市づくり

(1) トップスポーツの支援とチームとの連携促進

【対象層】市民全般

〔ふるさとトップアスリート支援〕

- 大会で好成績を修めた選手をスポーツ功労者表彰で表彰をしており、全国大会等へ出場する選手に対して奨励金を交付している。全国大会へ出場する選手は増加傾向にある。また、奨励金の交付要綱の見直しを行い、小中学生が大会へ出場する場合は、社会人と同等の金額を交付することとした。
- 地元企業や市民による支援体制の構築にはいたっていない。

〔トップチームとの連携〕

- 東レアローズ及びアスルクラロ沼津とパートナーシップ協定を締結している。
- 協定に基づいてチームと連携し、相互のイベント等への参加や、アメリカの男子バレーボールチームの合宿誘致が順調に進んでいる。

(2) ウォーキングのまちづくり

【対象層】市民全般、市外ウォーキング愛好者

- 鉄道事業者主催や企業と連携したウォーキングイベントを例年実施しており、市内外からのリピーターも多く、市の観光誘客促進に寄与している。
- 「箱根の里」ハイキングコースを整備し、小学校の校外学習やバス旅行団体等、年間で2千名近くが利用している。ただし、台風の影響で利用できるコースが制限されたことや少子化の影響で、今後、参加者数が減少する可能性がある。
- ノルディックウォーキングについては、2コースが認定され、毎年更新を行っている。
- 認定コースを活用した講座の開催や全国大会等も開催しており、三島市だけでなく、他の県東部市町でもノルディックウォーキングの普及が進んでいる。ただし、中高年層中心で、若年層の参加が少ないのが現状である。

(3) 健康づくりの推進

【対象層】市民全般

〔日常生活におけるスポーツ習慣の啓発〕

- “健幸”マイレージについては、応募コースの見直しによって応募件数が増加する等、幅広い世代の参加が図られ、定着している。
- みしまタニタ健康クラブ会員、健幸塾の利用者、みしま健幸体育大学への参加者数等は、ほぼ横ばいとなっている。

〔スポーツによる生活習慣病予防〕

- 生活習慣病予防のための“健幸”教室は、参加者の改善効果がみられたものの、参加者数が伸び悩み、2019（令和元）年度で終了となった。
- 企業との連携施策は、健康経営に取り組む企業が少なく、企業を通じたビジネスパーソンへの働きかけが難しい状況である。

〔“健幸”長寿のためのスポーツ推進〕

- 従前からの高齢者向けの健康教室等を継続開催しているが、スポーツ教室については、男性の参加率が低くなっている。
- 参加者数は、全体的にほぼ横ばいの状況であるが、参加者数が減少傾向で、内容の見直しが必要となっている事業もある。

(4) スポーツを通じた地域の活性化

【対象層】市外スポーツ愛好家・スポーツ団体等

- 三島市スポーツ・文化ミッションが大会や合宿の誘致に取り組んでおり、スポーツ大会などのために来訪した選手や観戦客が各会場や市内で消費活動をし、まちの活性化につながっている。

- 市内で開催される大会やウォーキングイベント等に合わせ、参加者のおもてなしや本市のPRを行うブース出展等の取組も行っている。
- 一方で、スポーツ施設や宿泊施設の不足等の理由から、さらに事業を拡大するためには、近隣市町等との連携が必要とされている。

(5) スポーツ施設の整備

【対象層】 市民全般

- 市内のスポーツ施設の多くが老朽化しており、利用者のニーズ、利用状況等を踏まえ、危険度の高い施設から更新している。財政的な問題もあり、新しい施設を設置することは難しい状況である。
- 公園や遊休地等を活用した「街中・街角スポーツ環境の整備」については、適切な用地が見つからないこともあり、既設の健康運動器具の点検・修繕を行う以外の新たな取組は具体化していない。

A decorative border composed of various shades of teal and green triangles and polygons, framing the central text area.

付 2 関連資料

1. スポーツ推進審議会委員名簿

	選出区分		氏名
1	学識経験者		だかはら けんじ 高原 健治
2	三島市医師会		わたなべ たかし 渡辺 貴
3	NPO法人エンジョイスports三島		うえまつ ひろし 植松 博志
4	三島市体育振興会連絡協議会		おの はるお 小野 治雄
5	三島市スポーツ推進委員		さいとう よしつぐ 齊藤 義次
6	学識経験者	順天堂大学保健看護学部	つじかわ ひろと 辻川 比呂斗
7	NPO法人三島市体育協会	三島市陸上競技協会	やまもと たけひさ 山本 武久
8	三島市スポーツ少年団		あだち ひろみち 足立 博道
9	NPO法人三島市体育協会		こんの まもる 今野 守
10	NPO法人三島市体育協会	三島市武術太極拳連盟	なかむら みつこ 中村 満子
11	NPO法人三島市体育協会	三島市野球連盟	おぎの あきら 荻野 昭
12	校長会		にしじま てつじ 西島 哲治
13	三島市自治会連合会		いしい めくみ 石井 芽久美
14	静岡県東部スポーツ産業振興協議会		まえだ ともこ 前田 智子

※任期数、氏名五十音順（敬称略）

2. 計画策定の経緯

内容	対象・実施内容	実施期日
スポーツ関係団体アンケート	NPO法人三島市体育協会 三島市レクリエーション協会 三島市スポーツ推進委員会 三島市体育振興会連絡協議会 三島市スポーツ少年団 NPO法人エンジョイスports三島	2020（令和2）年7月
庁内関係部署・計画進捗状況アンケート	三島市関係部署	2020（令和2）年7月
第1回スポーツ推進審議会	スポーツ推進計画について審議 ・計画策定スケジュールについて ・市民アンケートについて	2020（令和2）年7月29日
スポーツ関係団体ヒアリング （第1回三島市スポーツ関係団体連合会にて実施）	活動状況と課題について（関係団体アンケートの補足）	2020（令和2）年8月7日
三島市民アンケート	三島市在住の18歳以上の男女個人対象者数1,000人（住民基本台帳からの無作為抽出） 有効回答数：475人	2020（令和2）年8月11日～8月31日
第2回スポーツ推進審議会	スポーツ推進計画について審議 ・市民アンケート結果について ・計画原案について	2020（令和2）年11月20日
パブリックコメント	三島市民	2020（令和2）年12月15日～2021（令和3）年1月15日
第3回スポーツ推進審議会	スポーツ推進計画について審議 ・計画とりまとめ案について	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し中止（資料を各委員に郵送し、意見などを聴取）

三島市スポーツ推進計画

2016（平成 28）年 3 月策定

2021（令和 3）年 3 月改定

三島市健康推進部 スポーツ推進課

〒411-0033 三島市文教町 2-10-57 三島市民体育館内

E-Mail : sport@city.mishima.shizuoka.jp